
第4章 目標

1. 『かかみがはら』にふさわしい景観

2. 目標

第4章 目標

1. 『かかみがはら』にふさわしい景観

本市が持つ大切な資産である水辺、緑、農地、歴史と文化を基盤として、さまざまな市民生活や産業活動が互いに結びつきながら都市活力を継続させることが本市の描く緑豊かな都市です。ここでは **第3章 課題と理念** を受け、『かかみがはら』にふさわしい景観の将来像を定めます。

『かかみがはら』にふさわしい景観

- 愛着と誇りが持てる水と緑にあふれた景観

- 市外から訪れる人にとっても懐かしく心地良い景観

- 安心して楽しく歩け、憩える場がある景観

- 世代を超えて受け継がれる個性的な景観



各務野自然遺産の森



村国神社を取り囲む緑



新境川沿いの歩道



ごんぼ積み集落（川島地区）

2. 目標

1. 『かかみがはら』にふさわしい景観の実現に向けた目標を定めます。

目 標	
1	<p>水と緑あふれる景観に愛着心や親近感が持てるようにしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 木曽川や新境川などの川と水辺、山並みや独立峰、河岸段丘の緑など、水と緑あふれる景観は本市の大切な資産です。これらが身近に感じられ、愛着心や親近感、誇りが持てるように大切にしていきたいと思います。
2	<p>広がりのある心地良い景観を大切にしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 木曽川、各務原台地、北部の山並みといった自然地形は、広々とした心地良い景観を形づくっています。これら自然地形による広がりのある景観は本市の特徴であり、後の世代まで受け継いでいきたいと思います。
3	<p>楽しく歩け、ゆったり憩える場所にしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 景観を眺めながら楽しく歩け、ゆったり憩える場所を増やしましょう。また、本市への来訪者をもてなせるような、ほっとできる場所を創りましょう。この景観が好きだと思えるような場所を守り、増やしていきたいと思います。
4	<p>歴史、風土に根ざした景観により個性を表現しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史、風土による特色ある景観は、市の個性につながります。これらを大切に守り、育て、受け継いでいきたいと思います。そして“各務原市へ来た”ということがはっきりとわかるような景観を創っていきたいと思います。
5	<p>景観について考え、創り、育てよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 土地や建物は景観を構成する要素の一つです。周辺の景観に対してどのような役割を持っているのか、建物等を改変することはどのような影響や価値を生み出すのかを考え、周辺の景観に新たな価値を付け加えられる様、よい景観を創り、育てていきたいと思います。
6	<p>身近な景観にも目を向けてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 住んでいる土地、地域には歴史があります。ちょっとした小さな路地や川岸には固有の景観があります。有名な歴史的資源や大きな自然景観に隠れて日頃見落としがちな、身近な景観にも目を向けていきたいと思います。